資料４

「ユースヘルスケアしながわほけんしつ」の拡充

～正しい性の知識で若者の不安を安心に～

事業名	若者の心と体の健康相談事業
予算額	19,159千円
背景・目的	区では令和6年度に「若者の心と体の健康相談事業（ユースヘルスケアしながわほけんしつ）」を立ち上げ、若者のセンシティブな相談に対応してきたが、相談事業を実施するなかで、特に性に関する知識不足に伴う不安を抱えていることが明らかになった。 これを受け、若者が心身ともに健全に成長し、将来の選択肢が妨げられることのないよう、既存事業に加えて性に関する正しい知識の普及啓発を強化する。
POINT	●高校生～大学生等向けに「対面相談イベント・講座」を年4回程度新規開始 ●人間関係やジェンダー理解等を含む、性の正しい知識の普及啓発 ●既存のチャット相談・オンライン相談と組み合わせ、若者のセンシティブな悩みに総合対応

事業概要

【対象】青年期の若者（高校生～大学生等）

【実施内容】

1.既存事業（継続）：チャット相談（週5日）、オンライン対面相談、
対面相談会（小中学生対象）

2.新規事業（拡充）：対面相談イベント・講座
人間関係・ジェンダー理解を含む
性の知識普及啓発

【実施方法】

若者が気軽に集える雰囲気の場所
を会場として選定

【実施回数】

年4回程度実施予定（令和8年度開始）

＜新たな取組イベントのイメージ＞

すべてのAEDに三角巾を追加配備
～安心して救命活動が行える環境整備～

事業名	女性等に配慮した三角巾の新規配備　新規
予算額	570千円
背景・目的	AEDは心停止の際に有効であり、迅速な使用による生存率の向上が期待されるが、心停止の傷病者に対して、衣服を脱がせるという抵抗感から、AEDの使用に男女差が生じていることが課題となっている。 AEDを使用する際、女性等へのプライバシー保護や応急手当の際に必要に応じて利用できるよう、区が設置している全てのAEDに三角巾を新たに配備する。
POINT	●区で設置しているすべてのAEDに三角巾を新たに配備 ●AED使用の抵抗感を緩和

事業概要

AED使用時における女性等へのプライバシー保護に加え、AEDを使用して救命に当たる第三者が衣服を外すことにためらいを感じるなど、使用者側の心理的な抵抗感を低減するとともに、応急手当（止血・固定等）にも活用できるよう、区が設置するすべてのAEDに、三角巾を新たに配備する。

【スケジュール】
令和8年8月（予定）　三角巾新規配備

男性専用の相談事業を新たにスタート

～悩みを抱える男性をサポート～

事業名	ジェンダー平等と性の多様性の尊重の推進（相談事業） 新規
予算額	797千円
背景・目的	区では女性相談員による総合相談でカウンセリング相談を実施しているが、男性は悩みや困りごとを他者に相談せず、ひとりで抱え込みやすい傾向があり、相談につながりづらい現状がある。 男性がこころや生き方、人間関係の悩みなどを気軽に相談できるよう、「男性のための相談」を新たに実施することで、これまで相談につながっていなかった男性の相談機会を確保する。
POINT	●男性向けに、こころ・生き方・人間関係の悩みを専門相談員が相談対応 ●悩みを一人で抱え込みやすく、相談につながりにくい男性の傾向を踏まえた相談事業 ●区内在住・在勤・在学の男性を対象に、面接または電話で、月1回・50分以内の個別相談

事業概要

男性がこころや生き方、人間関係の悩みなど気軽に相談できるように、男性相談員を主とした「男性のための相談」を新たに毎月1回実施し、これまで相談につながらず一人で悩みや困りごとを抱え込んでいた男性の相談機会を確保する。

面接または電話にて、専門の相談員が区内在住・在勤・在学の相談者からの相談を受ける。

【スケジュール】

令和8年4月より開始

【相談日程】

毎月第3火曜日（年末年始を除く）

午後4時から8時まで

※相談は1回につき50分以内

ストーカー・DVから身を守るための防犯対策の強化

事業名	ストーカー・DV事案等から身を守るための防犯対策事業　新規
予算額	15,612千円
背景・目的	ストーカーやDVの被害が深刻な社会問題となる中、区では、これまでストーカー・DV事案等について、被害相談、生活支援や防犯カメラなどの防犯資器材購入の補助事業を行ってきた。今後、更なる支援策を実施し、犯罪予防と再犯防止に取り組み、区民の安全と安心を確保する。
POINT	●性別を問わず、ストーカー・DV被害者の一時避難の際の宿泊費を助成 ●再犯防止対策のための加害者に対する更生プログラムの受講支援 ●盗撮被害等の対策として、シールミラーの設置や学校などと連携して防犯教室を開催

事業概要

1. 一時避難宿泊費助成　23区初

ストーカー・DV事案等の被害を未然に防止するため、避難を希望する区民を、性別を問わず支援する。区や警察を通じて避難する際、一時的にホテル等を使用した区民を対象に宿泊費の一部を最大21泊まで助成する。

2. 加害者に対する更生プログラムの受講支援　23区初

ストーカー・DV事案等の加害者への対策が課題となっていることから、加害者側にもアプローチし、加害行動についてのカウンセリングプログラム受講を1人につき10回程度支援することで、重大事案への発展を未然に防ぎ、また、さらなる被害の発生を防止する。DV加害者プログラムでは、加害者に対し、医師・臨床心理士等による問診や、参加者同士のグループワークにより再犯防止の徹底を図る。

3. 盗撮被害等の対策

駅および商業施設のエスカレーターや通勤・通学で利用している歩道橋での被害に対応するために、シールミラーを設置し「見せる盗撮対策」を図る。

学校などと連携して、盗撮被害防止・防犯資器材の活用方法などの防犯教室を開催する。

子どもの心と体を守るために正しい知識を保護者へ

リプロダクティブ・ヘルス／ライツの理解促進

事業名	ジェンダー平等と性の多様性の尊重の推進（周知啓発） 新規
予算額	3,044千円
背景・目的	「品川区ジェンダー平等と性の多様性を尊重し合う社会を実現するための条例」では、基本理念の1つに「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の尊重」を掲げている。 家庭という安心できる環境で保護者から子へ幼児期から性に関して伝えることで、今後の社会活動での性のトラブルの備えとなるとともに、性別や年齢にかかわらず、すべての人がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを認め合うことで、条例の目指す社会の実現を図る。
POINT	●幼児期から正しい性知識を家庭で伝えるための啓発 ●保護者向けワークショップで家庭での「性の話の伝え方」を学ぶ機会提供 ●3歳児健診で体の大切な部分を伝える絵本型リーフレットを配布

事業概要

1. 保護者向けワークショップ

幼児期の子どもがいる保護者を対象に、ワークショップを開催する。グループワークなどを通じて他の保護者との交流も図り、保護者から子どもへの性の話の伝え方を学ぶ。

2. プライベートゾーン周知用リーフレット

保護者が子どもに読み聞かせながらプライベートゾーンの大切さについて伝えられるよう、絵本形式のリーフレットを配布する。

【スケジュール】

ワークショップ：年2回実施（令和8年度より開始）

リーフレット：3歳児健診にて配布（令和9年2月より開始）

女性ITエンジニア育成により
区内企業の人手不足解消を支援

事業名	しながわ女性高度IT人材育成事業
予算額	2,031千円
背景・目的	区内企業、とりわけIT業界の人手不足は顕著で、2030年には国内で最大79万人のIT人材が不足する予測もある。一方で、ITエンジニアに占める女性比率は約20%以下となっている。 このため、ITエンジニアという選択肢を女性に示し、スキル習得を支援するとともに、区内中小企業とのマッチング支援により人材不足の解消と多様な働き方の実現を図る。
POINT	●出産・子育て等で離職中や非正規就労の女性を対象にIT人材育成を支援 ●セミナー・体験・講座受講から就職までを一体で支援し、スキル習得を後押し ●国制度に区が上乗せ助成し、受講料の自己負担を最大実質ゼロに

事業概要

1. キャリアセミナー：女性向けのITスキル興味関心・リテラシー向上

2. 体験ワークショップ：プログラミング等の実践的体験

3. 講座受講助成：ITスキル習得講座の受講料を一部助成
※国の事業に区が上乗せ助成で最大負担ゼロ

4. インターンシップ受入
区内企業での実務経験を支援

5. 就職支援
区内企業とのマッチング支援

【スケジュール】
令和8年4月：事業開始
令和8年5月：キャリアセミナー
令和8年6月：体験ワークショップ
令和9年2月：助成金募集終了
（交付決定は随時）

Step1
・キャリアセミナーの開催
・1dayプログラミング体験ワークショップ

区
・Step1イベントの共催
・同イベントの集客・広報

委託事業者
・イベントの主催
・プログラム提供
・就業支援　・キャリアサポート

▼

Step2
・区民（求職者等）が高度ITスキル講座を受講

国：助成対象の7～8割 ※
区：助成対象の2～3割
▶ 区民負担 最大実質ゼロ

※ 経産省リスキリング支援、キャリアップ支援事業（70%）
厚労省教育訓練給付金（80%）

▼

Step3
・区内IT企業においてインターンシップを実施